

今回のインタビューは、昨年「親子で学ぶ絵本」を発刊された西藤諭美子さんに、子育てと社会人教育のつながりを聞きしました。

聞き手／西田祐三 委員



講演中の西藤諭美子さん

最近の社会人全般を見ていると、挨拶や礼儀作法ができるいないし、コミュニケーション能力が低くなつたと思います。これは時代背景もあり、核家族化や近所付合いなども少なくなり、子育ての伝承ができないことがあります。先に親が学んで、子どもに「なぜ」を教えることができるのは、小さい頃から親しみやすい絵本で、親子が関わる、コミュニケーションもとれるので、日常の「なぜなぜ」を子どもに教えることが、親の役目ですし、共に育つスタートです。

こつていてると感じます。家庭でのしつけは、将来、子どもが自立するためには必要です。先に親が学んで、子どもに「なぜ」を教えることができるのは、小さい頃から親しみやすい絵本で、親子が関わる、コミュニケーションもとれるので、日常の「なぜなぜ」を絵本にしました。子どもに教えることが、親の役目ですし、共に育つスタートです。

本日は、お忙しい中、本当にありがとうございました。ありがとうございます。

海田町にはいつから住まれていますか？

出 身は山口県岩国市ですが、学校を卒業して広島の銀行に勤務し、結婚を期に海田町に住むことになりました。出産から子育てもしてきましたので、本当に故郷と同じくらいに海田町が大好きです。すでに三十年近く過ごしております。

なぜ、親子で学ぶ絵本を発刊しようと思われたのですか？

私の仕事は、企業で社会人教育やコンサルタント業をしております。最近の社会人全般を見ていると、挨拶や礼儀作法ができるないし、コミュニケーション能力が低くなつたと思います。これは時代背景もあり、核家族化や近所付合いなども少なくなり、子育ての伝承ができないことがあります。

子どもの頃のしつけは、大人になつてからどのよう影響すると思ひますか？

元 気で明るい挨拶や感謝の気持ちであり、がとう、素直な気持ちでごめんなさいが言える人

は、対人関係がうまくできることで、良い人間関係づくりにつながり、スマートな集団生活が実践できます。

活動内容を教えて下さい。



あいさつからスタートするマナーの大切さ！
（まずは親がやつて見せて、子どもに伝える家庭から）

子育て道先案内人 西藤諭美子さん

さいとう ゆみこ

在、企業の子育て応援で、子育てママさんのセミナーや小学校PTA講演会などで、「しっかりと楽しく子育て」を伝えています。

子育ては大変ですが、今しか関われないこともありますので、将来のために頑張ります。

みんなの力で元気な挨拶日本の海田町を目指しましょう。